
ありがとう ~Song of only one love~

月菜 -Kina-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとう～Song of only one love～

【ZPDF】

Z238FD

【作者名】

月菜 -Kina-

【あらすじ】

病氣で死んでしまった大好きな人に捧げたいたつた一つの愛の歌

「ありがとう」の一言も言えなかつたのに愛の歌なんて
歌えるのかな？

Prologue (前書き)

初めまして。初投稿です。
まだまだ未熟な面もあるとは思いますが
末永くよろしくお願いします。

Prologue

今でも忘れない君の笑顔
いつも私に優しさをくれたね

信じていた 君の言葉を

それが精一杯の強がりだったことも知らずに

君といふと いつも優しい私でいた
今までそんな人に

出逢つたこともなかつたよ

二人 思い出の場所

あの時の君の笑顔が蘇り
ふととなりを見て
君はもうどこにもいない

ちゃんと約束を守るから

君の分まで生きる 生きてみせる

君に出逢わなければ

一生かかっても分からなかつた事が
きつとたくさんあつたね

君といふと いつも心が軽くなつた

今までそんな人に

出逢つたこともなかつたよ

君とよく聴いた歌

君が好きだつたこの夜の景色
ふと となりを見ても
君はもうどこにもいな

戻ってきて

デートで遅れた時みたいにさ
笑いながらごめんつて言つて
全部許すから…

二人 思い出の場所

あの時の君の笑顔が蘇り
ふと となりを見ても
君はもうどこにもいな

「愛」「優しさ」「強さ」「温かさ」

人を愛するということ
何一つ知らなかつた私に
君は大切なことを たくさん教えてくれた

「ありがとう」

そう言ってあげればよかつた

First Story

2007年9月26日

圭円空翔 永眠 享年15歳
しげつあきとう

君が亡くなつたのは私の誕生日。
私の誕生日が来ると哀しくなるんだ。

『空翔はもういないんだよな』って実感しちゃうから。
君はもういないのに、隣にいるんだと思つてしまつ。
最後に君はこう言つたよね。

『俺の分まで生きてくれ』って。

だから約束守るよ。無言の約束だけれど。

君の分まで生きてみせるよ。だから見ていてね

文化祭一週間前のとある中学校。名前は紫衣奈学園。ちなみに女子校で全寮制。

そんなわけで、この文化祭がいろいろな意味で彼氏をGONEする貴重な時間になる。

この学校の文化祭はかなり変わつていて。

1日目はいわゆる体育祭。2・3日目が文化祭にあたる。
ま、簡単に言うと体育祭も文化祭も一緒にやつてしまおうとして。

2人の少女がいろいろな荷物を抱えて廊下を歩いていた。

少女の名前は宇月桜空

うづきさくら

もう1人の少女は宇月柚空

うづきとうら

見て分かるとおり2人は双子。でも生まれた日が1日違う不思議な

双子。

つけている学級章が違うのでどちらかは分かるものの制服を着ていないと

まったく分からぬくらい似ている一卵性の双子。

桜空のほうが事実上は姉に当たる。誕生日は9月26日。

柚空は妹。誕生日はもちろん9月27日。

「ひどいもんだね、亜姫あきは……」

「しうがないじゃん。2クラス合同だから必要なものも多いんでしょう？」

「いいねえ～柚空は悠々自適で…つらやましいわ～」

「ふふつ そうかなあ？」

「絶対そうつー！」

2人は会話をしながらゆっくりと教室へと戻つていった。
きっとクラスでみんなが待つていてるから。

この文化祭が2人の運命を変えることを知りもしなかつたから。
嵐のような恋の始まりが近づいていることを知りもしなかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2387d/>

ありがとう ~Song of only one love~

2011年1月16日01時56分発行